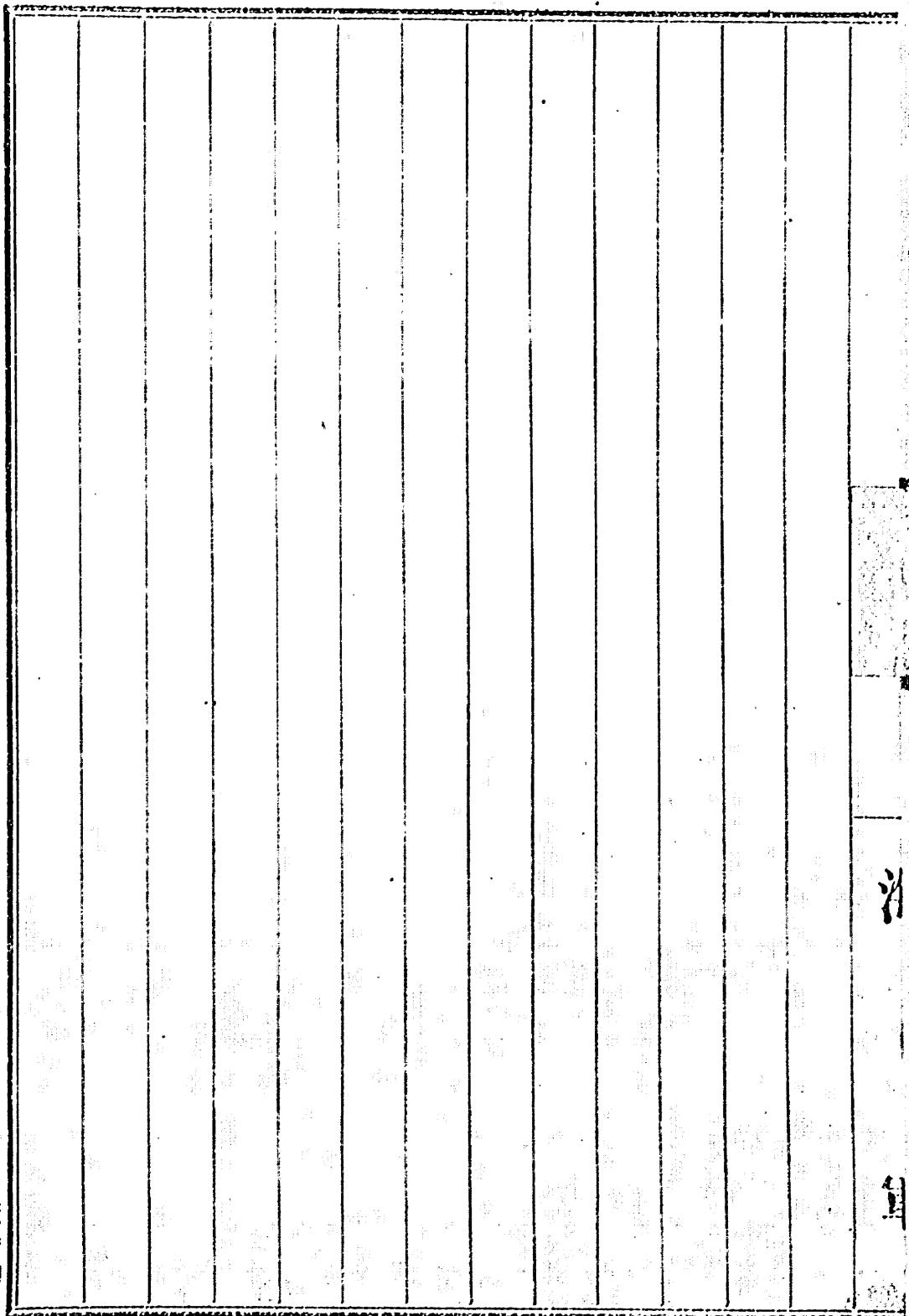


0099

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



故元帥海軍大將侯爵西郷從道

勳二等旭日桐花大綬章

故海軍中將子爵仁禮景範 銅像圖案募集

勳一等旭日大綬章

今ヤ外戰新ニ全勝ノ光榮ヲ以テ其局ヲ結ヒ帝國ノ武威更ニ一段ノ隆キヲ加ヘ我海軍亦此曠古ノ大勝ニ與リテ其名譽ヲ荷フニ至レリ、是レ一ニ天佑ヲ保有シ給フ

聖上陛下ノ稜威ト士卒ノ忠勇ニ依ルト雖ニ一面夙ニ帝國ノ地勢ニ鑑ミ心力ヲ我海軍ノ經營ニ致シ其基礎ヲ確立シ其發達ヲ企圖シタル諸先輩ノ功績ニ負フトヨロ多シト謂ハザルベカラズ、不肖等幸ニ今日ノ盛運ニ際會シ諸先輩ノ偉績ヲ欽慕スルコト殊ニ切ナリ、乃チ先ツ右元帥大中將ノ銅像ヲ建設シ永ク其雄功偉業ヲ紀念セント欲シ茲ニ普ク懸賞ヲ以テ圖案ヲ募集ス望ムラクハ江湖藝術ノ士畢生ノ技能ヲ振テ之ニ應センコトヲ

左ニ應募者ノ爲メニ要件ヲ列舉ス

- 一 銅像ノ高サ各十貳尺　臺ノ高サハ建設地確定ノ上適宜之ヲ定ムル事
- 一 臺及柵ノ材料ハ花崗石又ハ鑄銅ヲ用ユル事
- 一 銅像ノ圖様ハ全身立像ノ事
- 一 銅像服装ハ海軍大將及中將正服ノ事
- 一 臺及柵ニハ各將ニ緣故アル趣向ヲ以テ簡樸ナル裝飾ヲ施スヘキ見込ノ事
- 一 應募者ハ粘土、油土、石膏、木彫等ノ摸型ヲ以テ形容姿勢等ヲ示スヘシ
- 一 但顏面及頭部ニハ細密ノ工ヲ加フルヲ要セス。別ニ寫眞ニ據リテ精確ナル顏面及頭部ノ肖像又ハ胸像摸型ヲ添フヘシ。面貌ハ素ヨリ酷肖ヲ期スト雖トモ最モ精神並ニ性格ノ表現ヲ求ム。
- 一 模型ノ大サハ銅像實體ノ六分一ナルヘシ。頭部或ハ胸像摸型ノ大サハ銅像實體ノ二分一タルヘシ
- 一 臺及柵ノ圖案ハ追テ當選者ヘ附託スヘキ見込ニ付此際提出ニ及ハス
- 一 應募摸型及圖案ニハ一切應募者ノ姓名雅號印章等ヲ記入又ハ押捺スヘカラズ
- 一 應募圖案ハ明治三十九年五月三十日マテニ海軍大臣官房ヘ送付スヘシ
- 一 應募圖案ハ夫ニ適當ノ鑑識アル大家ヲ集メテ審査ヲ委託スル事
- 一 審査ヲ經テ第一等ノ選ニ當ルモノニハ賞金トシテ各將每ニ金參百圓宛ヲ贈呈ス。第二等ノ選ニ入ルモノニハ各將每ニ三名宛ヲ拔擢シ各金壹百圓宛ヲ贈與スル事
- 一 第三等以上ノ圖案ハ之ヲ保存シ紀念ノ爲メニ公設ノ博物館等ニ寄贈スルコトアルヘシ
但此場合ニ於テハ賞金ナキ圖案ニハ各金五拾圓以下ノ代價ヲ支給スヘシ
- 一 應募圖案ハ返付セス 但特別ノ事情アリテ返付ヲ請求スル向ハ詮議スヘシ

明治三十九年四月七日

右銅像建設發起人

男爵山本權兵衛
外十五回人

故元帥海軍大將侯爵西鄉從道

大勳位菊花大綬章

故海軍大將伯爵川村純義

銅像圓案募集

勳一等旭日桐花大綬章

故海軍中將

子爵仁禮景範

勳一等旭日大綬章

今ヤ外戰新全勝ノ光榮ヲ以テ其局ヲ結ヒ帝國ノ

武威更ニ一段ノ隆ナラ加ハ我海軍亦此曠古ノ大

勝ニ與リテ其名譽シ椅ニ至レリ、是ニ

天佑ノ保有シ給フ

聖上陛下ノ移咸ト士卒ノ忠勇ニ依ルト雖凡一画

ニ帝國ノ地勢ニ鑑ニ心力ニ我海軍ノ經營ニ致レ

其基礎シ確立シ其發達シ企圖シタル諸先輩

ノ功績ニ負アトヨロ多シト謂ハザルベガラズ、不肖等

幸ニ今日ノ威運ニ際會シ諸先輩軍人偉績ヲ欽慕
スルコト殊ニ切ナリ、乃ダ先ツ右元帥大中將ノ銅像

ノ建設ニ永ノ其雄功偉業ヲ紀念セント欲シ茲ニ
普シ懸賞シテ圖案ノ募集ス望ムラクハ江湖藝

術ノ士畢生ノ技能ヲ振テ之ニ應セントシ

左ニ應募者ノ為メニ要件ヲ列舉ス

一 銅像の高サ各十丈人、臺の高サは建設地
確定の上適宜之を定むる事

一 臺及柵の材料は花崗石又は鑄銅を用ひる事

一 銅像は海軍省附近に建設する事

一 銅像服装は海軍大將及中將正裝の事

一 銅像服装は海軍大將及中將正裝の事

服

一 壇及柵には各將に縁故ある趣向を以て簡樸なる裝飾を施す。き見立の事。

一 應募者は粘土、油土、石膏、木彫等の模型を以て形容姿勢等を示す。し

但顔面及頭部には細密の工を加へるを要せり。別に寫真に據りて精確な顔面及頭部の肖像又は胸像模型を添へし。面貌は素朴而體格を期すと雖も最も精神並に性格の表現を求む。

一 模型の大サは銅像實體の六分一ありし。頭部或は胸像模型の大サは銅像實體の二分一乃至二分之三にて當選者へ附托す。き見立に付此際提出に及ばず。

一 應募模型及圖集には一切應募者の姓名雅號

印鑑等を記入又其押捺すぐりす

二 應募圖案は 明治三十九年八月三十日志に海軍大臣

官房へ送付すべし

一 應募圖案はこれ適當の鑑識ある大家を隼
せて審査を委託する事

審査を経て候等の異に當ふものには賞金と
して各將毎に金參百圓銭を贈呈す。候等の
選入するものには各將毎に三名銭を授贈し若
金産而圓銭を贈與する事

二 第三等以上の圖案は之を保存し紀念の為に

公教の博物館等に寄贈することあるべし

但此場合に於ては賞金亦其圖案中には含ま

五 棚圓以下の代價を支給すべし

應募圖案は返付せり

但特別の事情ありと返付を請求する旨説明せし

明治三十九年四月七日

右銅像建設發起人
男爵山本権兵衛
外十五

銅像・面・察・草・集・書・屏・寫・眞・雕・附・光

八、四、谷、五、坂、町、二、九、五、姓、田、芳、林、方

ト、ミ、ア、會

十、下、谷、己、谷、中、初、立、日、四、ノ、二、〇、日本、美、術、院

十五、赤、枝、運、澗、池、三、生、巧、館、内

白、馬、會

十五、北、豊、島、郡、日、暮、暮、里、村、一、二、一、八

瑞、谷、國、四、郎、方

大、平、洋、画、會

八、小、石、川、己、下、富、枝、町、一、九、川、瑞、郎、三、郎、方

天

眞、社

八、本、鄉、己、龍、園、町、三、四、橋、本、宗、次、郎、二

葉、會

十五、下、谷、己、竹、町、二、七、南、米、岳、方

葉、通、會

五、小、石、川、己、久、聖、町、七、四、鷹、田、基、石、方

眞、美、會

五、神、田、己、塙、路、町、一、國、倉、秋、水、方

日、同、會

洋

宣

五
浅草寺北寫経町二十、渡邊香満方一元 聲會

五
一下谷西町三、

日本画會

五
下谷上谷中根町九五、鳥谷幡山方 美術研精會

五
下谷中根岸町三三、小枝英田方 日本南宗畫會

五
下谷已根岸街隱殿三四、高耕峯方 大同繪畫會

七
下谷西町三、笠川木方

讀畫會

十五上野公園内花月亭内 工

讀畫會

十五下谷上野公園櫻井園 日本美術協會

十五本郷豆町达千駄木町一八五、白井保次郎方 工

讀畫會

十本郷豆町

丹青會

三本郷豆町三、

新海竹太郎

三	牛込区大久保余丁町一〇七、	篠田文藏
二	本郷区鈎立千駄木町六五、	白井雨山
三	小石川区表町一〇九、	長沼守致
三	本郷区根津八幡町六五、	海野美盛
三	下谷区谷中真鳥町六一、	石川光明
三	本郷区鈎立千駄木林町一五九、	高村光雲
三	浅草区永住町一〇七、	竹内久一
二	京橋区明石町六二、	鈴木長吉
三	小石川区久堅町七四、	大熊次廣
三	京橋区大鋸町一三、	金田三義次郎
二	本郷区鈎立千駄木森町一四二、	山崎朝雲

二 下谷口谷中初音町四ノ三、

朝 日 明 堂

二 本郷区千駄木町五之、

沼 田 一 雅

三 下谷区櫻木町二、

加 納 鐵 戦

三 小石川区大原町一九、

本 山 白 雲

二 北豊島郡日暮里村二〇七、

黒 岩 淡哉

二 本郷区駒込曙町一六、

米 保 雲 霞

以上朱書き印刷物、教・寫真影・個人へハ
各一枚づゝ、圍縁へハ印刷物、凡三分、一冊
けり

三將銅像圖案提出者

舊
圖

案

提
出

者

者

村
整

一 河村伯爵像	芝區三田小山町三番地	川上 邦世	×
二 西郷侯爵像	四谷區荒木町十三番地	田中 良雄	×
三 仁禮子爵像	小石川區竹早町六十三番地	山本 鹿洲	×
四 河村伯爵像	小石川區竹早町六十三番地	山本 久次郎	×
五 西郷侯爵像	下谷區竹町二十七番地	南 米岳	傳
六 仁禮子爵像	本郷駒込千駄木町原五番地	松樹	木

0111

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

一 西郷候爵像	仁禮子爵像	河村伯爵像	西郷侯爵像
二 仁禮子爵像	木郷駒込署町	下谷區中根岸町十六番地	小石川區大原町十九番地
三 西郷候爵像	木郷駒込署町	細谷 三郎	本山 白雲
四 河村伯爵像	米原雲海	米原雲海	米原雲海
四谷區東信濃町十番地	通名	通名	通名

一五	河村伯爵像	下谷區上野櫻木町三十六番地	海野 義盛
一六	西郷侯爵像		
一七	仁禮子爵像	麹町區下二番町四番地	横田 秀義
一八	仁禮子爵像	浅草區小島町二十六番地	毛利 敏武
一九	河村伯爵像	下谷區二長町三十六番地	山崎 己之助
二〇	西郷侯爵像	下谷區中真島町七番地	後藤 良
二一	仁禮子爵像	北豊島郡日暮里村畫堂生地 秀三郎家 朝倉 文夫	林村 方

✓

二二

西郷候爵像

神田区錦町三百五番地、東通方竹内

定吉

二三

仁禮子爵像

本郷区根津宮永町三一一番地、卷野

正吉

二四

河村伯爵像

本郷区駒込動坂町百毫庵

煙

二五

仁禮子爵像

本郷区駒込動坂町百毫庵

交

二六

仁禮子爵像

浅草区下平右衛門町十三番地

相馬邦之助

二七

西郷候爵像

浅草区下平右衛門町十三番地

相馬邦之助

二八

河村伯爵像

浅草区下平右衛門町十三番地

相馬邦之助

久保田印							
久保田印							
久保田印							
久保田印							
久保田印							
久保田印							
久保田印							
久保田印							

三海將銅像圖案提出者

番號 圖案 提出者

二二二 八七六	二二二 五四	二二二 三三	二〇一 九八	一七八 六五	一一四 四三	一二二 二一	一二〇 九八七	一六五 五四	一三三 三四	一二一 二二	一川西仁 村鄉禮	一川西仁 村鄉禮	一川西仁 村鄉禮	一川西仁 村鄉禮	一川西仁 村鄉禮	一川西仁 村伯爵	一川西仁 村伯爵
子侯子 爵爵爵	子侯子 爵爵爵	子侯子 爵爵爵	子侯子 爵爵爵	子侯子 爵爵爵	子侯子 爵爵爵												
像像像 像像像	像像像 像像像	像像像 像像像	像像像 像像像	像像像 像像像	像像像 像像像												
相馬邦之助	森鳳吉	烟正聲	竹内吉良	朝倉定夫	後藤良之	山崎文三	毛利武	横田通美	堺秀美	海通名	田中盛	米原雄	糸谷一	本白雲	杉山雄	本邦	川上邦世

0115

年九月廿日七日（昭和大正元御元年）

三月銅像高置立

御内寫五代

中海写士

木林博士

河井博士

松井博士

坂井博士

大熊博士

主

0116

審査臨席者

栗仰大將

伊集院中將

村上信之

加藤少將

伊藤大佐

加藤大佐

村上大佐

山本元

成田

0117

三海將銅像圖案審査ノ結果

先般來懸賞ヲ以テ募集中ナリシ故侯爵西郷元帥、故伯爵川村大將及故子爵仁禮中將ノ銅像圖案ハ、應募製作三將分合計貳拾八箇締切期日迄ニ到着シ海軍大臣官舍ニ陳列シ深ク秘シアリシカニ建設委員將校ノ取扱ニテ過般三日間ニ涉リ右三將ノ家族親戚ヲ相會シ其肖似ノ如何ヲ検査シ次ニ海軍大將伊東元帥、山本大將東郷大將、井上大將以下將官十八人ノ檢閱ヲ經タルニ西郷侯並ニ川村伯ノ分ハ意見大ニ一致シ仁禮子ノ分ハ意見稍區々ナリシモ略ホ一致スル處アリ以上ノ意見ヲ詳記シ置キ十月七日ノ審査會ニ提出セリ、審査會當日ニハ審査員長男爵九鬼隆二、工學博士中澤岩太、醫學博士森林太郎、帝室技藝員高村光雲、全海野勝珉、杉竹二郎、黒田清輝、坂井義三郎諸氏出席セリ當日ノ審査會ニハ山本大將東郷大將齋藤中將伊集院中將以下八人ノ海軍將校立合セリ

右ノ外圖案募集ニ關係ナキ「彫刻大家(西洋流)ハ右審査員ニ加ハリ居リ當日出席ヲ確約シ居リシ半富日暮春之突然郵便ヲ以テ家内ヲ取リ込事アル旨ヲ以テ斷

リタリ又文學博士大塚保治氏ハ早クヨリ頻リニ右審査員タラン事ヲ勧メラレタ
レトモ暫ク考按ノ後終ニ固辭セラレタリ又塚本工學博士關野正學士ノ二氏ハ右
審査員ニ加ハリ居ラレタレトモ大學教授ノ本職ヲ以テ清國内地ノ美術調査ニ派
出セラレ終ニ右審査會ノ間ニ合ハカル事トナレリ前文八人ハ午前第十時ニ總而
海軍大臣官舎ニ相會シ各圖案（作者ノ姓名ハ海軍將校ノ手ニフミ之ヲ收メ審査
員ニハ固ヨリ深ク之ヲ秘シ）ニ就キ検案鑑查シ精察審議ノ上終ニ至而九鬼審査
員長會長トナリテ記名投票ヲ行フ（森士博ハ公務ノ爲メ當日俄ニ出席ヲ得ス）投票ノ結果
ヲ詳記スレバ

西郷元帥

親族方

（備考胸像ハ面貌ヲ主トシ
立像ハ體勢ヲ主トス）

審査員

七名

七點

七名

（内貳點ハ胸像ヲ主トス）
第一點 第二點 第三點 第四點 第五點
定決等壹第

第七號 拾參點

海軍將官方

十七名

0119

第貳拾號

第參等
第參等

第拾六號

四點
四點

第貳拾貳號
壹點

壹點
壹點

形容肖タリ
貳點

第五號
參點

第一參等
第一參等

川村大將

海軍將官方

拾八名

令

息

審查員

七名

立像
胸像
準像
壹點
壹點
壹點

*準二等參第 定決等參第 定決等參第

0120

第九號 捌七點

(少シム司正セ) 壱點

第貳拾四號 壱點

第拾九號
第拾壹號
第貳拾七號

仁禮中將

將官方

拾八名

故中將表古人
令令娘息參名

第拾貳號 七點

審查員

七名

胸像 第貳等
第參等 貳點

立像 第貳等	胸像 第貳等	立像 第貳等	胸像 第貳等
第貳等	壹點	第貳等	壹點
第參等	參點	第參等	參點
壹點	壹點	壹點	壹點

定決等貳第 定決等壹第

0121

第貳拾壹號 貳點

立像
第壹等 貳點
第貳等 貳點
第參等 參點
第肆等 四點

第參號 參點

全身可、
胸像中、 參點

第拾八號 參點

立像
第壹等 參點
第貳等 參點
第參等 參點
第肆等 四點

第六號 貳點

胸像可、
全身中、 參點

第拾七號

第參等 參點
第肆等 四點
第伍等 五點
第陸等 六點
第柒等 七點
第捌等 八點
第玖等 九點
第拾等 十點
第拾壹等 十一點
第拾貳等 十二點
第拾貳等 參點

第貳拾五號

壹點

準參等 參點

右ノ如クニシテ西郷元帥井川大將ノ分ハ直ニ決定ナ見タルモ獨リ仁禮中將ノ
分ハ投票點數區々分該タルヲ以テ更ニ十月十五日ヲ以テ審査員等再ヒ全官邸

今會シ再審ヲ遂ケ左ノ如ク議決セリ
 第壹等 胸像(面貌ヲ主トス)
 第貳等 立像(體勢ヲ主トス)
 第貳等 同
 第參等 同
 第參等 同
 第八號 第拾八號
 第六號 第拾壹號

即チ十月二十四日ニ至リ全建設委員將校ハ應募者並ニ當選者ノ姓名ヲ審査員長
 九鬼男爵ニ發表シ夫々規定ノ賞金ヲ當選者ニ贈呈セリ

當選受賞者ノ姓名ヲ列記スレハ

西郷元帥分

第壹等(賞金參百圓)

第七號作者

川村大將分

本山 白雲

第壹等(賞金參百圓)

第九號作者

本山白雲

第貳等(賞金百圓)

第貳拾四號作者

畠正吉

仁禮中將分

第壹等(賞金參百圓)

第拾貳號胸像作者(賞金半額百五拾圓)

第貳拾壹號立像作者(賞金半額百五拾圓)

第貳等(賞金各壹百圓宛)

田中雄一

朝倉文夫

山本鹿洲

本山白雲

毛利教武

第拾八號作者

第八號作者

第參號作者

右規定賞金之外特三左記ノ四名ハ各金參拾圓宛ナ贈呈セリ

0124

西郷元帥分

（第貳拾號）
（第拾六號）作者
（第貳拾貳號）作者

後藤美定吉盛良
海内傳

仁禮中將分 第六號作者

杉村傳

明治三十九年十月

以 上

右之通決着シタル上十月廿六日海軍大臣官邸ニ於テ各應募者ノ作品陳列ノマ、
應募者一体ニ參觀可致旨建設委員ヨリ通知シ猶當選者ヘ渡サル、金賞ニハ故西
郷川村仁禮二將銅像建設委員長東郷平八郎ヨリ賞狀ヲ附セラレタリ/

0125

拜啓昨ノ事打合せ

一印刷物爲稿作

二上印題

三急走に印刷

に仕せられ及ぼす

頑強也

九鬼隆一

初音

有志

海軍大臣閣下

村上佐蔵

書下

0126

先般未贋賞ヲ以テ募集中アリ。故侯爵西郷元帥、
故伯爵川村大將及故子爵仁禮中將ノ銅像圖案、
應募製作三將合計或於八箇月内期日迄到着。
海軍大臣官舎陳列庫ノ秘レアリシカ乍建設委員將
校ノ取扱ニ過般三百間浮リ右三將ノ家族親戚ヲ相
會。其肖似ノ如ク森業江波ニ海軍大將伊東元帥、山本
大將東郷大將升上大將以下將官十八人ノ模倣ラズタニ
西郷侯爵川村伯ノ分八意見大三致ニ仁禮子ノ分八意見
稍延々タリシモノ多一致スル慶アリ以上ノ意見ヲ詳記シ置キ
十月七日ノ審査會提出セリ。審査會當日八審査委員長
九鬼男爵、工學博士中澤岩太、醫學博士森林大郎、
帝室技藝員高村光雲、左海野勝珉、杉竹二郎、

黒田清輝、坂井義三郎、諸氏出席セテ當日ノ審査
會ハ、山本大將、東郷大將、齊藤中將、伊集院中將
以下八人ノ海軍將校立合セ
右ノ外國美術集、因係十一年形刻大家（西洋流）、右
審査員加ハリ居リ當日出席ヲ確約シ居リレモ當日ニ
至リ安太郎候テ以テ家内ニ取之事元首ヲ以テ断リタリ
久慈、吉田美院保氏、草木ヨリ類リ右審査員ダラン
事ヲ勧メテクレ暫ク考按、後終ニ因縛セテクレタリ
大塚孝工學博士、岡野工學士ノ二氏、右審査員ニ加ハリ
居ラレヌレモ大學教授木村ラ以テ清國內地ノ美術調
査派出セテ終ニ右審査會、今モル事トナレリ前
文八人、于前序十時ニ總て海軍大臣官舎相會シ各圖

按（作者）姓名、海軍將校、年二十三之ヲ取大審查委員

三、固ヨリ満ノ之ヲ秘シ、就キ検案鑑査、精察審議、

上終ニ至而九鬼審查長會長トナツテ、記名投票行フ

（森博士公勳、爲ノ前見俄ノ出席ヲ得テ、
於丁酉年正月廿日前左官舎出頭シ投票セリ）投票ノ結果ヲ詳記スレバ

西郷元帥

（備考胸像ハ而貌ヲ主トシ、立像ハ
體勢ヲ主トス）

第3蹄 壱

第3等前頭
形等前頭
壹

第3等壹

六準二等第

第5蹄 兮

第3蹄

脚様第3等壹
脚様第3等壹
脚樣第3等壹

川村大將

海軍將官方
十八名

令恩
一名

審查員
七名

第3等
第3等
第3等
第3等
第3等
第3等

定次等二等

第3蹄
壹

第3等
第3等
第3等
第3等
第3等
第3等

定次等二等

第拾號

第等 売立

第等 老立

第等 長立

第等 胸様
第等 老立

第拾號

第拾號

仁禮中將

將官方
七八名

政中將
令嬢
三人

審查員
七名

第十二號

第十二號
第十二號
武立
威立

第三蹄 戊五

第三蹄 卷五

一金身可
胸像中 卷五

一
第三等 戌五
第三等 卷五

一
第三等 戌五
第三等 戊五

第三蹄 戌五

一
第三等 戌五

第三蹄

一
第三等 戌五
第三等 戌五

第三蹄 戌五

一
金身可
胸像中 卷五

一
第三等 戌五
第三等 戌五

第三蹄

一
第三等 戌五
第三等 戌五

第十師志上

第十一師

準三等志上

ノリタケモアラ 藤原元師 畠川村大野ノ子ノ事文入ア

ノリタケモアラ 仁德寺門前、大野ノ事文入ア

ノリタケモアラ

タルヲ以テ更ニ十月十五日ヲ以テ審査員等再ヒ左官邸ヘ會シ
再審ヲ遂ニ左ノ如ク議又セリ。

第十二等

胸像(面貌ラミトス)
立像(體勢ラミトス)

第十三師

第十四師

第十五等

同

第十六師

同

庚三等

庚十八號

庚六號

即子十月二十

二十二

日立ツ丘建設委員將於應募者

當選者ノ姓名ヲ審査委員長九鬼男爵癸表シ夫々

規定ノ賞金ヲ當選者贈與セリ、

當選ノ受賞者ノ姓氏ヲ別記スレハ

西郎元帥

茅堯寺(賞金差百圓)

庚七號作者

何誰

川村大將令

庚壹號(賞金差百圓)

庚九號作者

何誰

岸二等（賞金百圓）

岸廿四郎 作者

何 謂

仁禮中將子

岸忠寺（賞金差百圓）

岸士源胸像作者
（賞金半額百圓）

何 謂

岸廿三郎立像作者
（賞金半額百圓）

岸貳等（賞金各百圓）

岸三郎 作者

何 謂

岸八郎 作者

何 謂

岸大郎 作者

何 謂

右規定賞金)外特左記ノ如ノ各金差圓元總覺り

西郷元帥分

房廿跡作者
第十六編作者

第三部作者

何誰

御詔

何誰

仁禮中將分

茂六跡作者

何誰

0136

日本

和歌

かのやうりうらとくはうすよ

銅鏡用紙やまかわゆきくわく

もとまつ國の事ひはるかのゆき

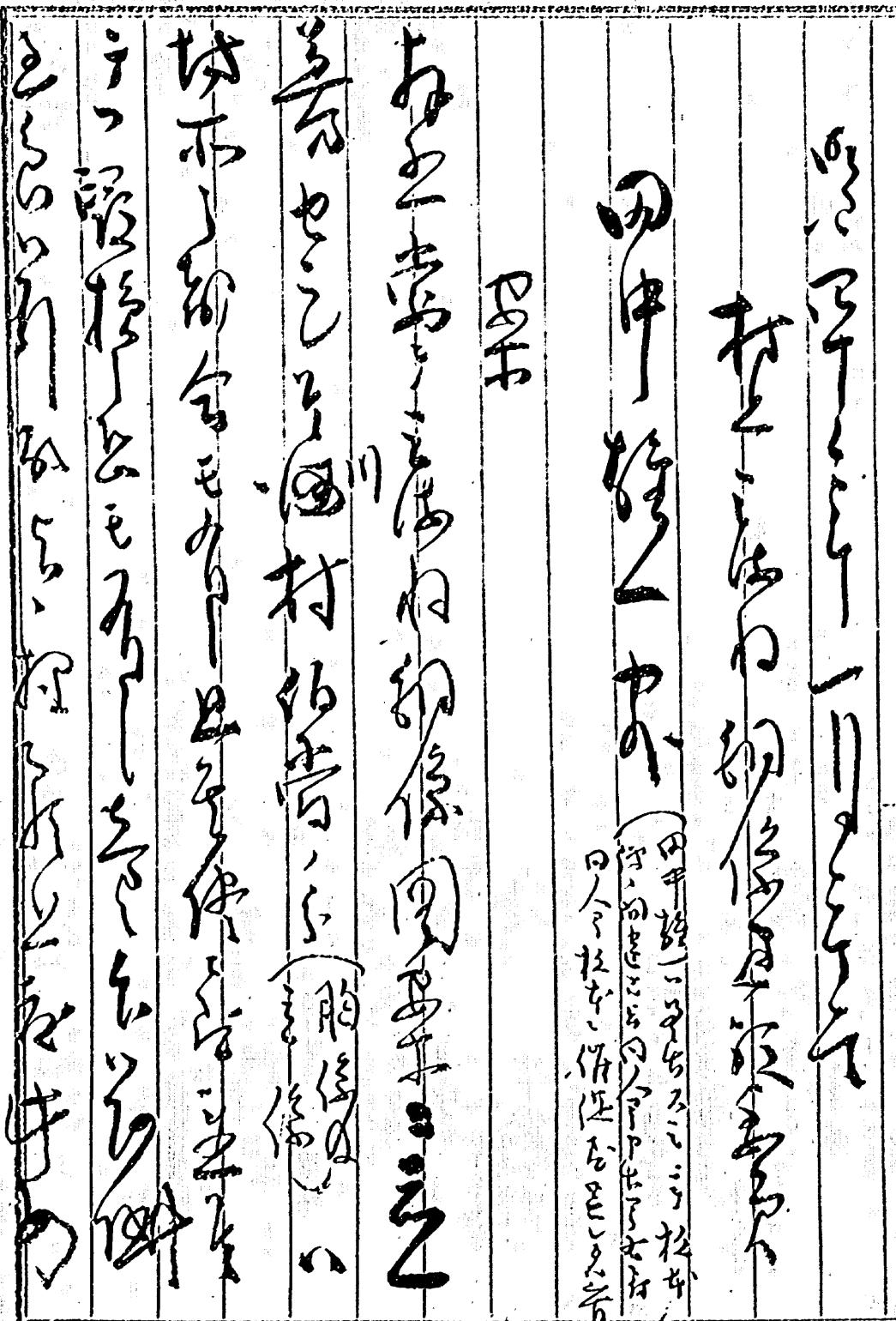
さくすいしゆくいはるかのゆき

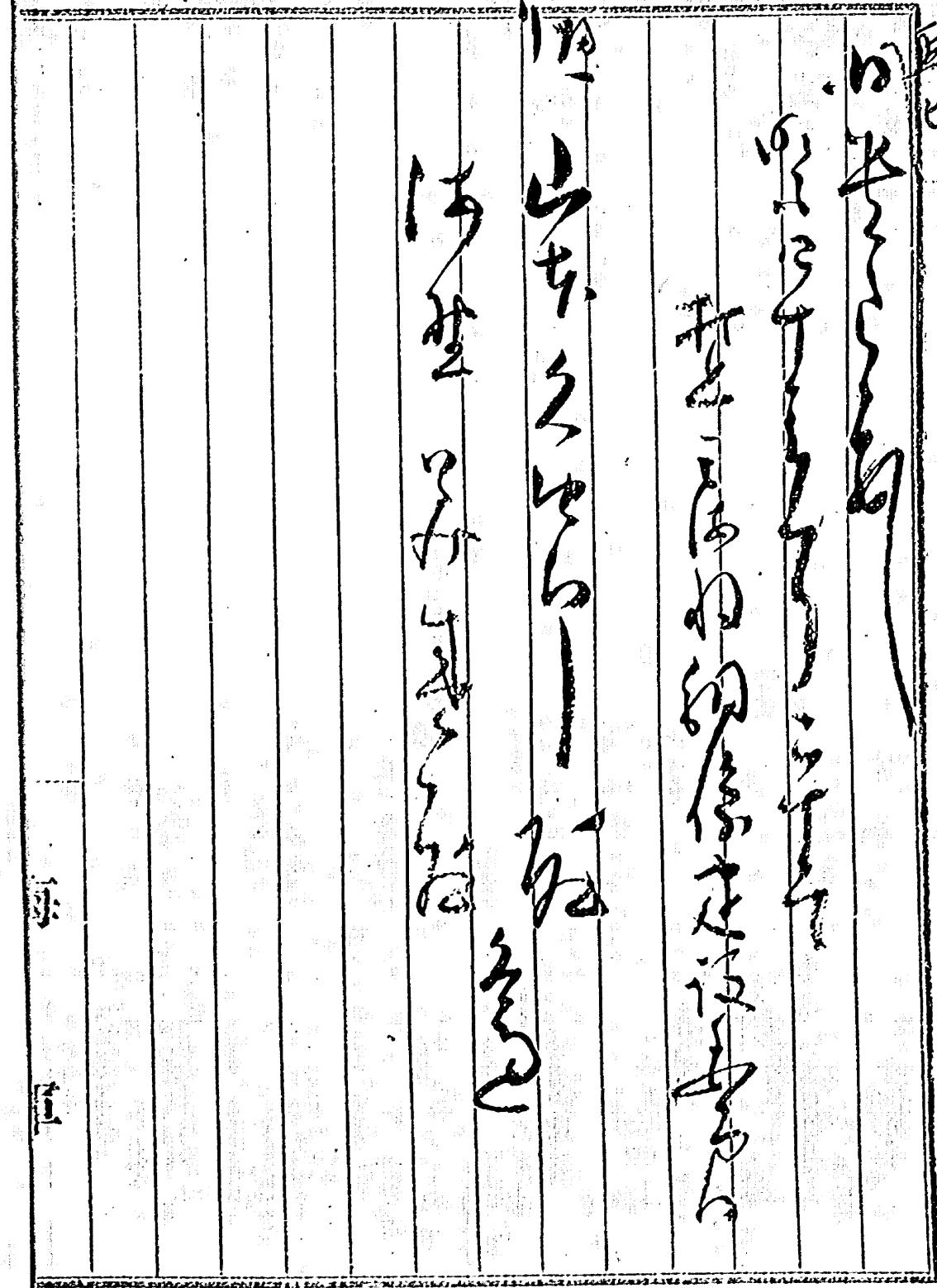
いよまつゆきゆきはるかのゆき

おとよみゆきゆきはるかのゆき

おとよみゆきゆきはるかのゆき

おとよみゆきゆきはるかのゆき





0139

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

卷之三	卷之四	卷之五	卷之六	卷之七	卷之八	卷之九	卷之十	卷之十一	卷之十二	卷之十三	卷之十四	卷之十五	卷之十六	卷之十七	卷之十八	卷之十九	卷之二十	卷之二十一	卷之二十二	卷之二十三	卷之二十四	卷之二十五	卷之二十六	卷之二十七	卷之二十八	卷之二十九	卷之三十	卷之三十一	卷之三十二	卷之三十三	卷之三十四	卷之三十五	卷之三十六	卷之三十七	卷之三十八	卷之三十九	卷之四十	卷之四十一	卷之四十二	卷之四十三	卷之四十四	卷之四十五	卷之四十六	卷之四十七	卷之四十八	卷之四十九	卷之五十	卷之五十一	卷之五十二	卷之五十三	卷之五十四	卷之五十五	卷之五十六	卷之五十七	卷之五十八	卷之五十九	卷之六十	卷之六十一	卷之六十二	卷之六十三	卷之六十四	卷之六十五	卷之六十六	卷之六十七	卷之六十八	卷之六十九	卷之七十	卷之七十一	卷之七十二	卷之七十三	卷之七十四	卷之七十五	卷之七十六	卷之七十七	卷之七十八	卷之七十九	卷之八十	卷之八十一	卷之八十二	卷之八十三	卷之八十四	卷之八十五	卷之八十六	卷之八十七	卷之八十八	卷之八十九	卷之九十	卷之九十一	卷之九十二	卷之九十三	卷之九十四	卷之九十五	卷之九十六	卷之九十七	卷之九十八	卷之九十九	卷之一百
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

0140

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

日本



新とあらぬの
御用事中油工ヨリアサセラ

支々新井屋正之
石高の傳也

新井屋正之
正之新井屋

新井屋正之
正之新井屋

新井屋正之
正之新井屋

新井屋正之
正之新井屋

主

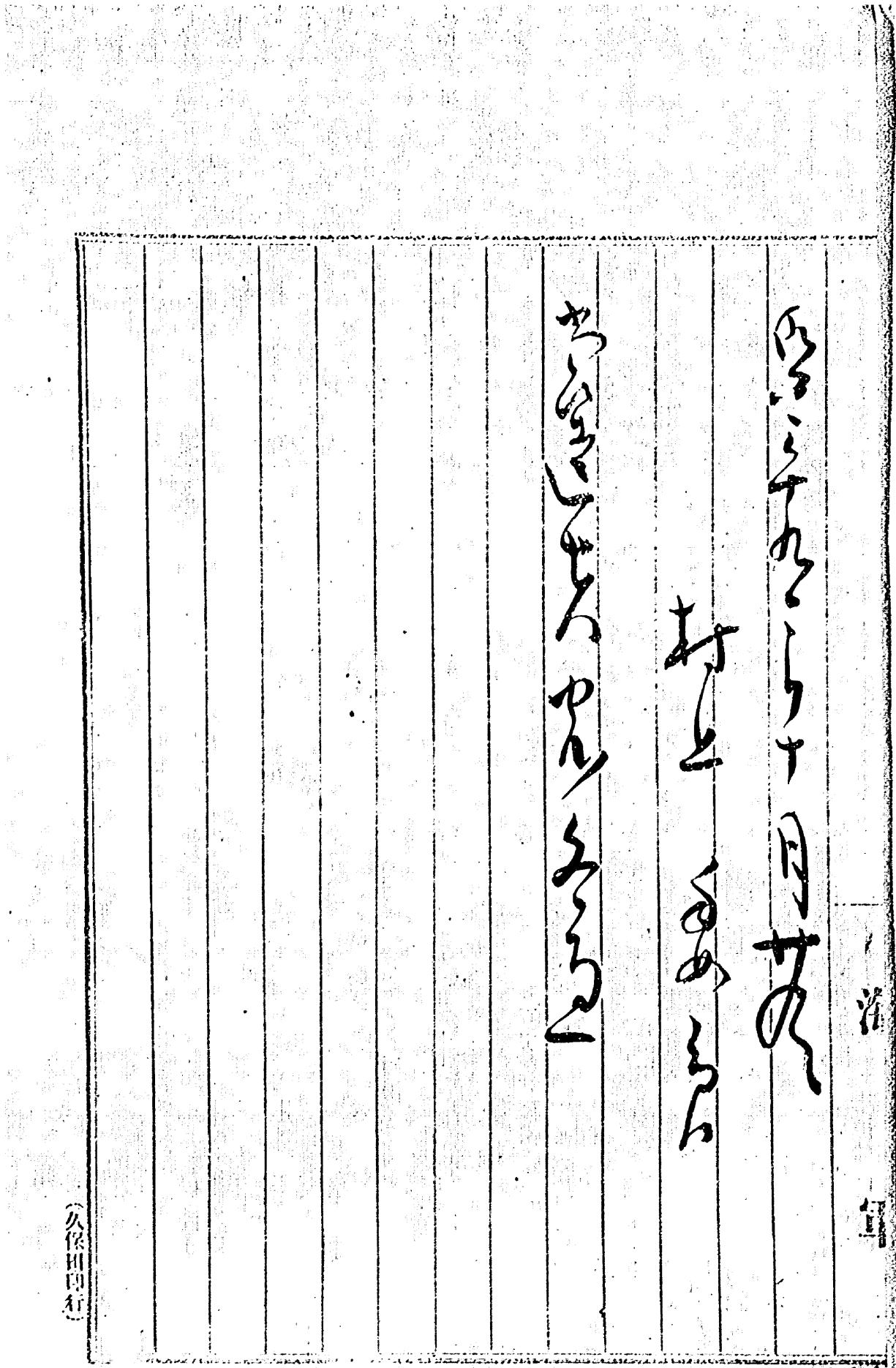
主

0141

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



0142

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

(村
落)

あかまつを

（高
原）

ちやね

（高
原）

徳
國
主
義
中
の
水
上
の
事

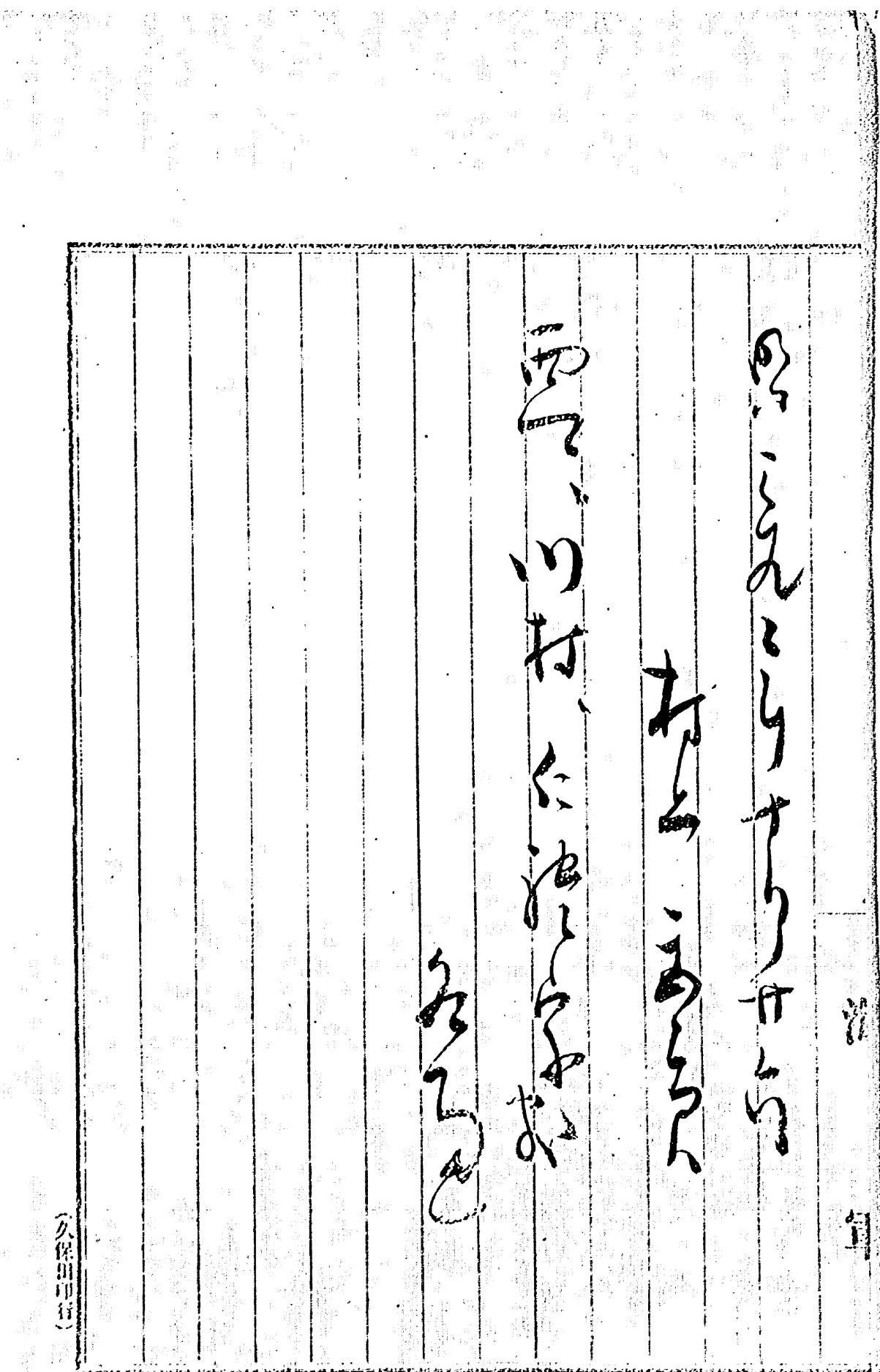
あ
ら
わ
れ
の
う
ち
の
事

は
く
れ
の
う
ち
の
事

ア
ラ
ハ
レ
の
ウ
チ
の
事

リ
カ
マ
ツ
を
ア
ル
事

（落
葉）



0144

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

ありテアセレバ一也は相ノリ(國) や
事無体おも成(シテ) 痛(タマニ) 宿處(スルマツ) 本(シテ) が
馬(シテ) 通(シテ) 動(シテ) て 事(シテ) は ま(シテ) あ(シテ) 事(シテ)
事(シテ) 事(シテ) 事(シテ) 事(シテ) 事(シテ) 事(シテ) 事(シテ) 事(シテ)

かくの御縁起

ある事
信軍
おのれ
ゆき